

3. 褶曲研究の態度—その場所での原因をみつけ出す

こと：今後の褶曲研究の方向として ベロウソフ博士は

- ① 個々の地域について 正確に 具体的にその構造を研究し その場所での原因を追求すること
- ② モデル実験の必要性

を挙げている。なかでも①については 同博士はいたるところで その重要性をくりかえし強調している。なぜならば 褶曲のタイプは きわめてバラエティに富むばかりか その形態が同じように見えるものなかにも いろいろな原因によるものがあるからである。

このことは 昇降運動説をとるかぎり必然である。収縮説の要因が全地球的であるのに対して 昇降運動説の要因には 地域性が強くあらわれるからである。われわれ 野外地質家にとって この結論には大いに

勇気づけられる。たとえまい地域で ケチな褶曲を扱っていたとしても その重要性は アルプスやコーカサスの構造におとらないといわれているからである。その代わり われわれもまた 自分の力で 自分のフィールドでの褶曲の原因を見付けなければならない。外見がちよっと似ているからといって いきなり アルプスやコーカサスの構造になぞらえて成因を考えたり 原因がよくわからないままにモデル実験をやってみかけの似たようなものができたと 喜んでいても 何の役にもたらず ベロウソフ博士に笑われるのがオチであろう。

(筆者は地質部)

おもな参考文献

ベロウソフ(垣見俊弘 平山次郎訳)：褶曲のタイプとその起源
ベロウソフ(都城秋穂訳)：実験的構造地質学
ベロウソフ(地学団体研究会訳)：構造地質学



白山国立公園

堀内 恵彦

北陸海岸に沿って 走る白山火山脈の主峰で 昔から信仰の靈山として知られる白山を中心にして 北は富山県プナオ峠から 南は福井・岐阜県境の大日岳までの重畳たる連山を主とした山岳公園で 付近には大家族主義で有名な白川郷や日本最初のロックフィルダム(石を積みあげて堤を作る方法)である御母衣(みほろ)ダムなどがあります。国立公園の指定は昭和37年11月12日 従来の国定公園(昭和30年7月指定)地域を多少修正し 富山・石川・福井・岐阜の4県にわたり公園総面積約 474.02km²です。

白山；古くから日本三名山の一つとして富士山 立山とともに有名で 夏でも万年雪をいただく雄大な姿から白山とよばれ南から御前岳(2702m) 剣が峰(2656m) 大汝(おおなんじ)峰(2646m) の3峰にわかれており その南方に別山 三の峰があつて いわゆる白山五峯を形成しております。山はその大部分が水成岩で 2300m以上の部分が安山岩からでき 山頂には火口湖(白山翠ヶ池；5円切手の図案)や熱気の噴出する地獄があり 御前岳に白山神社 大汝峯には白山比咩神社があります。

手取峡谷；白山に源を発する手取川の上流で 岩の間を流れる水流が 沿岸の岩を侵食して奇勝絶壁を形造つたもので 日帰りの行楽地として最適です。

中宮温泉；もと白山比咩(しうやまひめ)神社の中宮があつ

たので この名があります。標高が高いので 冬は9mも雪が積もり 夏でも寒いほどです。

岩間温泉；中宮温泉の南で 泉量が多く 河床のあちこちから湯涇りをあげて温泉が流れ出しており ここから1時間ばかり川を上ると 天然記念物に指定されている噴泉塔の集落があります。これは温泉が流れる際に湯口に温泉中の珪酸分を主とした鉱物質がつきつきに沈殿して塔状になったものです。

白山平泉寺城跡(福井県)；勝山から5km のところで 養老6年に元正天皇が病気が治ったのに感謝して 神社と僧坊を設けたのがはじめて 鎌倉・室町時代には強力な僧兵をかかえて朝廷を援けた地で 石塁や石垣が残っています。

鳩が湯(福井県)；山中の鉱泉ですが 夏の保養には絶好の地です。近くの石徹白(いとしろ)には高さ36m 幹まわり14mという大杉があります。

白川郷(岐阜県)；庄川上流の山間の部落で 昔の風俗・習慣が残されていて その大家族制は有名で 棟高13mにおよぶ合掌造りの家屋は40~50人の家族が居住でき有名でした。しかし多くのダムの建設に伴い水没するので 代表的なものは解体移設されました。

大白川温泉；岐阜県平瀬から白山への登山道の中間にあつて 白川の原生林に囲まれた岩壁から湧出する硫黄泉です。

白山は信仰の山として 古くから善男善女が登山し有名でしたが 自然の状態がよく保たれ 山岳公園として独得の風格をもつ地域といえましょう。訪れる地区により異なりますが登山にはやはり 北陸鉄道白山線を用いて 市の瀬を渡るのがもっとも普通でしょう。(筆者は元所員 現科学技術情報センター)